

# 若 樹

杉並区立東田中学校

考える力

校長 坂本 聖二

11月23日（金）に「意見発表会」を行いました。本校で長く続いている学校行事の一つです。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で、密を避けるために学年別で実施していましたが、今年は久しぶりに全校そろっての「意見発表会」を実施することができました。各学級から選ばれた代表生徒10人が、自分で決めたテーマについて「自分はこう考える」という意見を堂々と発表していました。どの意見も深い考察に基づいており、聴く側もいろいろと考えさせられる内容でした。

人の意見には正解も不正解もありませんので、誹謗・中傷などの他人の人格を攻撃するような内容でなければ、自由な発想で自由に発言することができます。憲法でいうところの「言論の自由」です。ただし、説得力のある意見を言うためには「考える」ということが重要になってきます。深く考えられた意見は聴く人の考えに何らかの影響を与えますが、あまり考えずにその場の感情に任せただけの意見は中身がなく、相手の考えにあまり影響を与えません。この場合の影響とは相手はその意見に必ずしも賛同するというのではなく、相手の考えに新たな「気づき」を与えるということです。

人間はそれぞれの価値観に基づいて物事を考えています。価値観はその人が育ってきた環境や経験によってそれぞれ違ってきます。「自分と違う意見をもっている人」は、「自分と違う価値観をもっている人」ということです。価値観というのは長い時間をかけて構築されていくものですので、相手の価値観を変えることは容易なことではありません。むしろ無理に相手の価値観を変えようとするのは、自分の価値観の押し付けになってしまうという側面も持っています。もちろん法を犯すような価値観は認められませんが、法を犯さない範囲であれば自分の価値観と違っていても認めなければなりません。

物事を考える土台が価値観であるということは、言い換えれば「人間の考えには多かれ少なかれ必ずバイアスがかかっている」ということができます。「バイアス」とは先入観・思い込み・偏見などのことです。バイアスもその人が育ってきた環境や経験に基づいていますので、価値観とバイアスは同等のものであると考えることができます。今回私が書いているこの文章も私の価値観に基づいていますので当然バイアスがかかっていますが、できる限りバイアスを少なくするために、様々な情報やそれに対する多くの意見を参考にしながら、自分なりに考えてまとめたものです。今回の私のこの意見に賛同する方もいれば、異論を唱える方もいると思います。しかし、いずれにしろこれを読んだ方々が何か気づき、考えを深めるきっかけになれば幸いです。

今回実施した意見発表会は、生徒たちが「物事を深く考える力」を身に付けるための重要な行事であると思っています。人間は生きていくうえで何かを決断しなければならない場面が頻りにあります。そのようなとき安易に感情に流されず、様々な情報や意見をもとに深く考えて決断を下せるような人になってくれることを願っています。

## 意見発表会

11月23日（金）全校生徒が一堂に会して「意見発表会」が開催されました。発表者の意見に真剣に耳を傾ける姿が見られました。各学級代表とテーマは以下の通りです。

学年 組	発表者	テーマ
1年A組		使い捨てプラスチックの進化
B組		哲学の終わり
C組		「不便さ」を逆手にとって
2年A組		睡眠の大切さについて
B組		コンプレックスのあるあなたへ
C組		早期英語教育のメリット・デメリット
3年A組		愛と勇気の意味
B組		AIに頼った教育はいけないのか
C組		尊厳死
D組		なぜ日本の幸福度が低いのか



## 障がいのある方への理解を深めるための授業（3年）

12月1日（金）視覚障がいのある方を迎えて、ご自身がこれまでどのような人生を歩んできたのか、また、周囲の人がどのようにすると有難いかなど、お話を伺いました。また、実際に手引き体験もさせていただき、貴重な機会となりました。今回の学びをどのように生かすかが大事ですね。

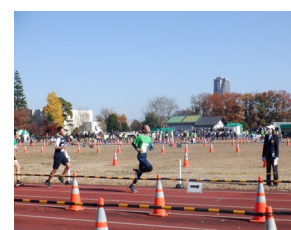


## 杉並区中学校対抗駅伝大会 2023 男子19位 女子9位

12月10日（日）に行われた駅伝大会。東田中は、右記の選手で、戦いに挑みました。

	男子	女子
1区		
2区		
3区		
4区		
5区		
控え選手		

お疲れ様でした  
Nice Fight!!



東京都生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果を東田中HPに掲載しました。